

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	02	02	0404	障がい児通所等給付事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》  
障がい児通所支援利用等に要する費用の給付

《事業開始の背景》  
平成24年4月 障がい児を対象とした施設・事業の根拠規定が児童福祉法に一本化され、障がい児通所支援の認定や給付は県の事務から市の事務となった。  
障害者自立支援法の児童デイサービスも障がい児通所支援の放課後等デイサービスとして児童福祉法に位置づけられた。

《事業概要》  
○障がい児通所等給付費の支給  
児童発達支援、放課後等デイサービス等の通所給付  
○障がい児相談支援給付費の支給  
指定障がい児相談支援事業者による障がい児支援利用援助

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 申請に対する決定率	%	目標	100	100	
		実績	100	100	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	健康福祉部	障がい福祉課	瀬川 浩子	512

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	133,852				
財源内訳	国県支出金	97,155			
	地方債				
	その他				
	一般財源	36,697			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

**障がい児通所等給付事業費 133,852千円 (H24 131,123千円)**

◎障がい児通所等給付 131,443千円 延1,074人 (H24 延902人 130,840千円)

児童発達支援	延べ利用見込	294人	41,038千円	(H24 265人39,360千円)
児童発達支援(重心)	"	12人	4,279千円	(H24 11人 3,664千円)
放課後等デイサービス	"	715人	76,037千円	(H24 615人71,469千円)
放課後等デイサービス(重心)	"	34人	8,343千円	(H24 11人 3,504千円)
新体系定着支援事業			1,522千円	(H24 12,843千円)
保育所等訪問		19人	224千円	

◎障がい児相談支援給付 2,147千円

利用計画策定	延べ利用	136人	2,147千円	(H24 5人 83千円)
--------	------	------	---------	---------------

※利用者負担は、政令で定める額または1割負担のいずれか低いほうの額  
利用計画作成とモニタリングは利用者負担なし

◎国保連審査支払手数料 262千円 (H24 200千円)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	02	02	0404	障がい児通所等給付事業

総合計画	政策	保健・医療・福祉のネットワーク	施策	高齢者や障害者がまちで暮らす真のノーマライゼーションへの取り組み
	3	拡充で安心のまちづくり	3-3	
目的	障がい児通所支援利用等に要する費用の給付			
対象	障がい児通所施設に通う児童とその保護者□			
意図	身近な地域で支援を受けられるようになる			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○障がい児通所等給付費の支給  
児童発達支援、放課後等デイサービス等の通所給付

○障がい児相談支援給付費の支給  
指定障がい児相談支援事業者による障がい児支援利用援助

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 放課後等デイサービス利用児童数 (3月末給付決定)	人	計画	68	75	
		実績	58	82	
② 児童発達支援施設利用児童数 (3月末給付決定)	人	計画	24	25	
		実績	27	31	
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 申請に対する決定率	%	目標	100	100	
		実績	100	100	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
------	-----	----------------------------------	--	----------------------------------

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

放課後等デイサービスを利用したいが、利用できる施設が近くになかったり、定員不足で待機者がいる。

目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	児童福祉法に基づき障がい児通所施設利用者の給付決定と利用料給付を行うものである。
有効性	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	児童福祉法に基づき障がい児通所施設利用者の給付決定と利用料給付を行うものである。
効率性	<input type="checkbox"/> 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	児童福祉法に基づく事務のため、削減余地はない。
公平性	<input type="checkbox"/> 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	児童福祉法に基づき給付決定をし、定められた自己負担額を負担している。

《総合評価》…上記評価結果の総括

障がい児通所施設利用者の給付決定と利用料給付を滞りなく行う。